

早寝・早起き・朝ご飯＋運動(自力登校)で生活のリズムを整えましょう！

生活指導だより  
第33号

# そろえる

溝辺中学校  
令和5年7月3日発行

## 線状降水帯発生、大雨災害の危険性が高まる 今日の下校、明日の登校に注意

九州南部では、3日午後から4日午前中にかけて線状降水帯が発生して大雨災害の危険性が急激に高まる可能性があります。今後の雨の降り方に十分注意してください。  
(KTS ニュース、中俣気象予報士)

学校から 下校時の注意点 7月3日(月)

下校時に雷や土砂崩れなどに気をつけるとともに、傘で視界がさえぎられたり、降雨で確認がおろそかになったりすることで、自動車事故の危険性も高まります。健康と安全に十分気をつけて帰宅してください。

### 【落雷】

雷鳴はかすかでも聞こえたら、それは落雷の危険信号であり、雷鳴が聞こえるときは、すぐに安全な場所(鉄筋コンクリートの建物や自動車、バス列車等の内部)に避難しましょう。緊急時にはお店やコンビニ、人家にお願いして、雨宿りを行い、雷がおさまるのを待ちましょう。



### 【土砂崩れ】

前兆として次のようなものがあります。



- ・がけにひび割れができる
- ・小石がパラパラと落ちる
- ・がけから水が湧き出る
- ・湧き水が止まる、濁る
- ・地鳴りがする

すぐにその場から避難する。  
その現象が起きている逆の方向に避難する。



### 【自動車事故】

雨が続き、運転者も運転中の視界が通常よりも悪く、ハンドルを握る人たちも気を付けなければなりません。道路の横断時はこれまで以上に左右の安全確認を行いましょう。



- ・路上や交差点での悪ふざけ、冗談まがいの行動はやめましょう
- ・傘をさすことで視界が狭まる。雨の音でかき消される車の接近音  
→ときに傘は、凶器にもなりうる・・・周りへの配慮も必要
- ・もしかしたら、車のドライバーは生徒＝あなたに気づいていないかも
- ・自転車の併走→×、特に雨天時の自転車気の焦りから注意力が散漫に成る可能性がある

# 令和5年度水難事故防止運動強調月間

主催 鹿児島県教育委員会 児童生徒等水難事故防止対策連絡会

- 準備期間 7月1日(土)～7月20日(木)
- 実施期間 7月21日(金)～8月31日(木)

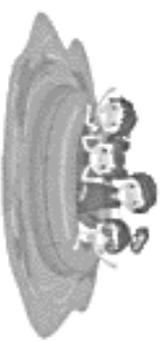
## ☆ 泳ぎ(水遊び)に行くときは

- 保護者(大人)と一緒に行く。  
(行き添う保護者(大人)は、携帯電話など連絡のとれるものを所持しておく。)
- 体の調子を整える。
- テレビの気象情報などで、天気や風の強さ、波の高さを確かめる。



## ☆ 魚釣りをするときは

- 一人では釣りに行かない。
- すべりやすい岩場など危険な場所での釣りはしない。
- 磯釣りは、高波などに注意し、必ず救命胴衣を着ける。
- ☆ ホットなどに乗るときは
- 子どもだけでは乗らない。
- 岸から遠いところには行かない。
- 嵐が強いとき、波が高いときは、乗らない。
- 必ず救命胴衣を着ける。



## 水に親しみながら 3M運動

# みんなでめぞう水の事故ゼロ

## ☆ 泳ぐときは

- 泳いでよいと決められたところで泳ぐ。
- 一人では泳がない。
- 監視員がいるところで泳ぐ。
- 指導者や監視員の注意を守る。
- 必ず準備運動・整理運動をする。
- 悪ふざけやおぼれたまねはしない。
- ☆ 水辺で遊ぶときは
- 溝つぼ周辺など、危険な場所では遊ばない。
- 立入禁止区域、危険区域では絶対に遊ばない。



## ☆ おぼれている人を見つけたときは

- 大声で近くの人に知らせる。(119番・110番への通報をお願いします。)
- ロープや棒などを利用して助ける。
- ☆ 監視員、保護者は
- 泳ぎの前には人員点検をし、入水から最後の着替えまで常に目を離さない。
- 二人以上で泳がせる。
- 長時間連続して泳ぐことのないよう、全員をプール・海からあげて、時間を決めて休憩をとらせる。



※ 海上での水難事故は「118番」に通報しよう。